

マウス精子から
機能性RNA

理研など発見

理化学研究所と新潟薬
科大学、仏ニース大学の
研究チームは、マウスの
精子に2種類の新たなR
NA(リボ核酸)が含ま

れることを発見した。機能性RNAと呼ばれ、受精して卵子に入った後も細胞核の中で維持されることが多いという。このため2種類のRNAは、発生の初期に遺伝子発現を制御している可能性が高いことが分かった。

精子の中には子供の代で働くRNAがあり、DNA(デオキシリボ核酸)以外の物質も遺伝情報を伝える物質として機能している可能性がある。精子の中のRNAは知られていなかったが、種類や量は分からなかった。